

全鉄連流通動態調査結果表 平成28年12月分

(29. 1. 29)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		11月実績	前月比	12月実績	前月比	12月実績	前月比	12月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	6,084	95.0%	53,813	94.4%	52,235	91.1%	7,662	125.9%	
	大阪	4,586	101.1%	29,111	107.1%	28,699	105.8%	4,998	109.0%	
	愛知	6,463	95.3%	3,468	105.4%	2,947	81.7%	6,984	108.1%	
	計	17,133	96.7%	86,392	98.8%	83,881	95.3%	19,644	114.7%	
形 鋼	山形鋼	東京	19,017	100.4%	10,314	100.1%	9,192	89.9%	20,139	105.9%
		大阪	15,688	94.5%	9,509	96.2%	9,549	88.4%	15,648	99.7%
		愛知	11,444	94.1%	8,512	118.7%	7,550	95.8%	12,406	108.4%
		計	46,149	96.8%	28,335	103.6%	26,291	91.0%	48,193	104.4%
	溝形鋼	東京	14,231	91.7%	7,019	125.8%	6,348	92.5%	14,902	104.7%
		大阪	9,280	90.3%	5,802	96.0%	6,078	86.3%	9,004	97.0%
		愛知	7,185	101.7%	5,374	99.0%	5,354	100.9%	7,205	100.3%
		計	30,696	93.4%	18,195	106.7%	17,780	92.6%	31,111	101.4%
	H形鋼	東京	23,540	108.6%	17,487	91.3%	14,818	85.7%	26,209	111.3%
		大阪	31,409	91.4%	28,784	111.9%	27,332	95.3%	32,861	104.6%
		愛知	17,852	99.7%	13,763	96.4%	14,868	103.8%	16,747	93.8%
		計	72,801	98.5%	60,034	101.5%	57,018	94.6%	75,817	104.1%
合 計		149,646	96.9%	106,564	102.9%	101,089	93.2%	155,121	103.7%	
コ ラ ム	東京	10,180	99.3%	3,180	98.6%	2,669	81.0%	10,691	105.0%	
	大阪	10,078	105.5%	4,588	91.4%	4,360	97.1%	10,306	102.3%	
	愛知	2,177	101.5%	1,317	99.9%	1,268	98.6%	2,226	102.3%	
	計	22,435	102.2%	9,085	95.0%	8,297	91.5%	23,223	103.5%	
軽量C形鋼	東京	3,547	92.9%	2,645	113.7%	2,406	92.6%	3,786	106.7%	
	大阪	2,822	88.5%	2,100	98.7%	2,153	86.4%	2,769	98.1%	
	愛知	2,810	104.0%	1,482	97.5%	1,626	115.2%	2,666	94.9%	
	計	9,179	94.6%	6,227	104.2%	6,185	95.1%	9,221	100.5%	
総 計		198,393	97.3%	208,268	100.8%	199,452	94.1%	207,209	104.4%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京31 大阪21 愛知15 合計67社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。